

令和5年度 第2回七戸町総合戦略審議会 議事概要

日 時	令和5年12月13日（水） 午後2時00分～午後3時00分
場 所	七戸町役場 2階 第1・2会議室
出席者	JA十和田おいらせ七戸支店長（山本氏）、 JAゆうき青森天間林営農センター長（福村氏）、 七戸町商工会事務局長（小山氏）、 七戸町天間林商工会事務局専門員（築田氏）、 みちのく銀行七戸支店長（鎌田氏）、 青森銀行七戸中央支店長（久慈氏）、 野辺地公共職業安定所長（今氏）、 デーリー東北新聞社十和田総局七戸分局（向屋敷氏）、 東日本電信電話株式会社八戸営業担当部長（奈良氏） 事務局（企画調整課：課長、山本）

1 開会（企画調整課 山本）

2 会長あいさつ

委員の皆さん、お疲れ様でございます。会長の山本です。

本年度第2回目の七戸町総合戦略審議会の開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

本日は年末のお忙しい中、本審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて7月の第1回審議会では、本年度中にまち・ひと・しごと創生第2期七戸町総合戦略の改訂を行うこと、また国のデジタル都市国家構想に基づき、デジタル技術を活用した内容を盛り込み、素案を作るというような提案をしてございました。

役場内の各部署でのとりまとめが終了し、素案を皆様にお示しできることになったということですね、本日この会を開催するという運びになりました。つきましては、皆さんからその内容をご確認、ご審議いただきたいというふうに思っております。

なお、この総合戦略は、令和6年度から令和10年度までの5年間の当町が具体的に政策を進める上で大事なものとなります。各委員の皆さんの方におかれましては、各分野の専門家でございます本会お示しした素案をより充実させるための具体的な提案、あるいはアドバイスをいただければというふうに思っております。限られた時間ではございますけれども、忌憚のないご意見等々を頂戴いたしてですね、より良い内容に盛り上げて仕上げていきたいというふうに思いますので、よろしく願いをして、私の挨拶とします。本日はどうかよろしく願いいたします。

3 議長選任

事務局：七戸町総合戦略審議会設置要綱により、会長が議長となるとありますので、会長であります十和田おいらせ農協七戸支店長の山本様より進行をお願いします。

4 議案審議

(1) 『(仮称) デジタル田園都市国家構想の実現に向けた まち・ひと・しごと創生 七戸町総合戦略の策定について』について

(事務局説明)

○参考資料1に基づき説明

- ・国勢調査に基づく総人口の推移について。

令和2年(2020年)の総人口1万4556人。平成27年(2015年)と比較すると、1153人、7.3%の減。町の独自推計と比較した場合、2020年の1万4790人の目標に対して、1万4556人で、239人が少なくなりました。社人研の推計1万4400人や、日本創生会議の推計1万3770人と比較すると上回っている。町総合戦略を実施して、ある程度の効果が出ているとみることもできる。

○『デジタル田園都市国家構想の実現に向けた まち・ひと・しごと創生七戸町総合戦略(案)』に基づき説明。

◎政策分野1 七戸町に経済効果をもたらすしごと・雇用を創出する

●政策分野の1-1 農家等の所得向上の推進

- ・林業に対する取り組みを明記。
- ・スマート農林業の導入やデータの活用など作業の効率化や労働負担の軽減化を目指す取り組みを推進。
- ・再生可能エネルギーを活用した農業生産体制の推進。

●政策分野1-2 新規就農者の増加

- ・ドローンやAIの技術を活用したスマート農業による作業の効率化や省力化を推進。

●政策分野1-3 安定した雇用の確保と安心して働ける環境の整備

- ・若年層に魅力ある雇用の場を確保するため、企業立地促進条例に基づく奨励措置を講じて、更なる産業の振興と雇用拡大を図る。
- ・テレワーク、ワーケーションなどの働き方に対応できる環境の整備や事業所誘致の取り組みを進める。

●政策分野1-4 道の駅を拠点とした地域産業の振興

- ・「七戸ならではの」のオリジナル商品や飲食メニューの開発。

- ・DX、ウィズコロナ・アフターコロナ、カーボンニュートラル、など急速に変化する時代に対応するための取組を模索しながら、地域全体で稼ぐ仕組みを構築し地域経済の活性化を推進。

会長：政策分野1について、事務局より説明がありましたが、確認、質問はございませんか？

七戸商工会事務局長：企業誘致の推進という新しく8ページのところで入ってきたんですけども、例えば、いろんな企業あるわけですけど、どういうふうなところを、生産的な企業なのかとかその辺はある程度、イメージはありますか？

企画調整課長：企業誘致の推進をこれまでも当課で推進をして参ってます。ただし、コロナ禍により首都圏での誘致活動活動等が制限されていた。ウィズコロナ、アフターコロナを踏まえたときに、町としてそういう製造業は柱であることは確かです。また、七戸十和田駅道など荒熊内のエリアは大規模な開発のまち作りを進めています。そうした中で、駅開業当時もそうだったんですが、宿泊施設がやはり弱い。宿泊施設がないというところに力を入れながら、あとは農林系の施設。そういったものは重点的な目標になってくると考えている。ホテル誘致に加えて、周辺の飲食店や商店といった環境整備もあわせて推進していきたいと考えています。

NTT東日本八戸営業担当部長：1-2の(2)のところ、ドローンですとかAI活用したスマート農業というのがあるかと思うんですけど、今のところこういった形で活用される予定ですとか、スマート農業で具体的にこういったものを今準備されてるかっていうのは、もしございましたら、教えてもらえるとありがたいです。

事務局：具体的にどのように活用するかというところまでは最終的には出来ていません。本ビジョンは、施策の方向性ということで示しています。ただし、今後、具体的に個別の施策を構築していかなければならないと考えています。

NTT東日本東日本八戸営業担当部長：了解した。弊社のほうでもドローンを使った農薬散布の事例ですとか、AIを活用したAIというかあれですけど、遠隔での営農仕組みの実証実験ラボみたいなのがございまして、具体的にそこを見ていただくですとか、具体的な事例も含めて、ご検討いただけるような提案したいと思いますのでよろしくお願いします。

ゆうき青森農協天間林営農センター長：町では、現在、子実コーンを進めているということで、大型機械の実演をやったりした。ドローンの方は、農薬会社のメーカーとかの実演を時々やっています。

会長：農協としてということであれば、2年前、上北支店長をやらせていただいていたときに、その集落の農家さんが遠隔操作、トラクターの遠隔操作で作業効率を図りましょうということで、250万ぐらい機械を導入した事例がある。、あとラジヘリの散布についても当初はラジヘリで散布してはいたけれども、ドローンの方が早いと、広範囲に散布できるというようなことで、そういったところでの効率化を図るといいうような話や、あとは他県の方ではもうそれこそ工場をAIで管理していて、作物について、もうじき収穫出来そうだ、もう収穫してくださいっていうようなことで、そういった事例ですとか思うテレビ等で報道されていますので、もうかなりの分野で、農業分野ではそういった技術を使ってですね、やれるっていうようなことは頭ではわかっているものの、いざ農協として単体でできるかとかって言ったときに、なかなか難しいものがあるのかなというのが正直思っている。農協の独自資金で全部賄えるかっていうとなかなか難しいところもあるでしょうし、それをノウハウを取得するっていうようなことで職員をそういったところに派遣する、そういったときにも現状、人があまり多くないという中で難しいっていう側面もあるので、そこも一つ進まない要因なのかなっていう気はしています。

天間林商工会事務局専門員：森林環境譲与税等を活用した、とありますけれども、それを過去にどのように活用しているのかというのはありますか。

企画調整課長：昨年度は森林計画を作ったりとか、その際にもドローンで森林の様子を撮影したりであったりとか。そういったものに活用させていただいております。

(事務局説明)

◎政策分野2 七戸町の住民の幸せを守り、住みたいという希望をかなえる

●政策分野2-1 居住環境の整備と移住定住の推進

- ・プロモーション活動をインターネットやSNSを中心に展開する
- ・空き家や空き地の利活用、

●政策分野2-2 関係人口の拡大

- ・世界遺産の構成遺産の史跡二ツ森貝塚がございますので、この二ツ森貝塚等を活用しながら、当町の観光資源の活用のみならず近隣市町村との周遊を取り入れた広域観光、これを視野に入れながら、七戸町のファンをつくり七戸町と継続的にかかわりを持つ関係人口を創出する取り組みを推進。

会長：政策分野2について、事務局より説明がありましたが、確認、質問はございませんか？

七戸商工会事務局長：11ページのところで当町の観光資源の活用のみならず近隣市町村との周遊を取り入れる広域観光というのは、大体イメージとしてどういうものを持つてのかなということ、もしあるのであれば教えていただきたいです。

事務局：史跡ニッ森貝塚にしても同じような遺跡が、他市町村にもあるわけですので、例えば同じ遺跡を持った市町村同士での連携取り組みだったり東八甲田ローズカントリー、旅行村等を含めた、少し広い意味での十和田奥入瀬だったり十和田湖といったようなところを含めての資源を含めての観光をイメージしています。

七戸商工会事務局長：政策分野2-1の居住環境の整備と移住定住の推進とあるんですけども、居住環境の整備というのは、例えばリフォーム等を含めてるイメージなんでしょうか。

事務局：ここではハード面の整備ということも含めて、実は下水道整備に国からこの地方創生の交付金をいただいているんですけども、そういうハード面の整備をイメージしています。

企画調整課長：付け加えて、住宅、本当に住む住宅に関しては、これまでも新築住宅への補助は実施しているが、令和5年度からちょっと違う補助内容にブラッシュアップしています。新築に加えて中古物件、今までは新築の物件のみが対象、空き家の動きを活発化できてそれが再利用できるようにするためにということで、中古物件の場合は町が補助する制度、現在設けているので、そういったところもPRしながら、あとは町の事業者等に働きかけていながら、どんどん環境を整えたいという分野です。

会長：今の関係でいくと、例えばリフォームをするだとか何とかって言ったときに資金を借りたいって言ったときに、例えば金融機関から借りてその部分について町が利息分を補助するよかはどうですか。

企画調整課長：そういうのを今後、話し合いを進めていく中で、そういう制度も必要となれば町が施策化していくっていうのも不可能ではないと思います。ただ、今現在はそういうのは、無いんですけど、今後は利活用もそうですし、危険家屋の問題など、やはりいろんな課題が住居系であるので、そういったものの解決にも、ぜひいろんなアイデアをいただき、政策を構築できればと思います。

(事務局)

◎政策分野3 若い世代の結婚をかなえ、出産・子育てしやすい環境を整える

●政策分野3-1 結婚希望者のサポート強化

- ・青森県と共同で運営するあおもり出会いサポートセンターと連携しながら、結婚したいという希望をかなえるため必要な施策を推進。

●政策分野3-2 若い世代の出産・子育てにかかる経済的支援

- ・各種申請書等のオンライン化を進め、利便性を向上する。

●政策分野3-3 教育環境の充実による地域ぐるみの子育て支援

- ・ICTの活用を初めとした学習環境、学校施設の整備を図る。

- ・地域の核となる七戸高校の魅力を向上させる取り組みとして、七戸公営柏葉塾を運営し、地域と積極的に関わるキャリア教育などを行いながら、次世代を担う生徒を育成する。

会長：政策分野3について、事務局より説明がありましたが、確認、質問はございませんか？

天間林商工会事務局専門員：デジタルネイティブとはどういうことですか。

事務局：デジタルに精通したといいますか、苦手としない世代をイメージしています。

NTT東日本東日本八戸営業担当部長：簡単に補足しますと、生まれたときからスマホが隣にあたりとか、パソコンがすぐあたりとかして、我々でいうとテレビを見るのと同じように、すぐパソコン使ったりとかスマホを使えるような、そういう感じの抵抗なくて、普通にこうあるのが普通だよ、みたいな世代のことをよく言ったりもします。

七戸商工会事務局長：12ページの一番下ですけども、新しくアンダーラインのところ、マッチングシステムによる婚活への支援の具体的なイメージを教えてください。

事務局：AI（あい）であう、という県で運営しているマッチングシステムがあるんですけども、それを活用するイメージです。

七戸商工会事務局長：そのシステムを使って会えば、KPIとしたら、ポイントが上がるということですか。

事務局：そこで、成立すればということではなく、加入者ですので、登録してそれをどんどん活用してもらってというイメージです。

七戸商工会事務局長：システムの利用ではなく成婚のほうが大事ではないでしょうか。

事務局：令和4年度の秋からこのサービスが始まっていますが、県全体でもこれまで成婚は3件くらいだったかなという状況ですので、まずは、登録するという事を推進してまいります。

企画調整課長：県が主体となっているという事で、安全性はあるので、民間のサイトよりは参加者が増えるのではないかなという期待をしている。

(事務局)

◎政策分野4 地域住民が輝き、地域全体が活気にあふれる地域づくりを行う

●政策分野4-1 持続可能な地域づくりの推進

- ・デジタルの力を活用した地域づくり。
- ・交通分野では、ICカードや電子マネーを利用したペーパーレス化。
- ・産業、暮らし、インフラ、交通など様々な分野の脱炭素化を推進。
- ・自治体DXの推進。参考までに、来年3月に「書かない窓口」と「公開型GIS」を構築する。

●政策運営4-2 健康づくりとスポーツ活動の推進

- ・人材不足が懸念される保健、福祉、介護及び医療分野でDXを活用しながらの体制の構築。
- ・全世代の町民がスポーツを楽しむことができるようなスポーツ教室等を開催し、健康増進を図る。
- ・青森県医療・福祉職子育て世帯移住支援金を実施する。

会長：政策分野4について、事務局より説明がありました。確認、質問はございませんか？全体を通してでも結構です。改めて質問、確認したい事項等ございましたら、お願いします。

企画調整課長：補足になりますが、青森県医療・福祉職子育て世帯移住支援金は県がやってる事業になりますが、これには町も参画して町も予算化をしています。七戸町に移住してきて、こういった職業についたり、専門学校等に通うことに対して補助金です。両商工会の会員の方でもPRをお願いしたいです。

会長：はいそうしますと、今回はあくまでも資料を委員の皆さんが深く読み込む時間がなかったというようなことも含めて、1月に開催するまでの間、資料を再度読んでいただきたいのですが、問い合わせする窓口については、いかがでしょうか？

事務局：年末で時間が無い中申し訳ございませんが、年内中にご意見等をいただければ、次、1月の審議会までに内容を直してご確認いただきたいというふうに思っています。

会長：委員の皆さん、そういったことでよろしいでしょうか？

以上で審議は終わりということになるんですけども、全体を通してもちろん何か発言される部分がありましたらお願いします。

発言ないというようなことをございますので、以上をもちまして七戸町総合戦略審議会終了いたします。次回は1月ということでしたので、次回も出席をよろしくお願いして終わりたいと思います。お疲れ様でした。